

第2章

大阪のスーパーシティ構想の概観

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的サービスを展開

- 大阪のスーパーシティ構想のテーマは「データで広げる“健康といのち”」。2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体へ広げていく。

データで広げる“健康といのち”

2023年度～

夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



2024年度～

うめきた2期

中核機能のテーマ

ライフデザイン・イノベーション



イメージパース (提供：うめきた2期地区開発事業者)

2025年度

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

- Saving Lives (いのちを救う)
- Empowering Lives (いのちに力を与える)
- Connecting Lives (いのちをつなぐ)



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド

- ・夢洲
- ・うめきた2期

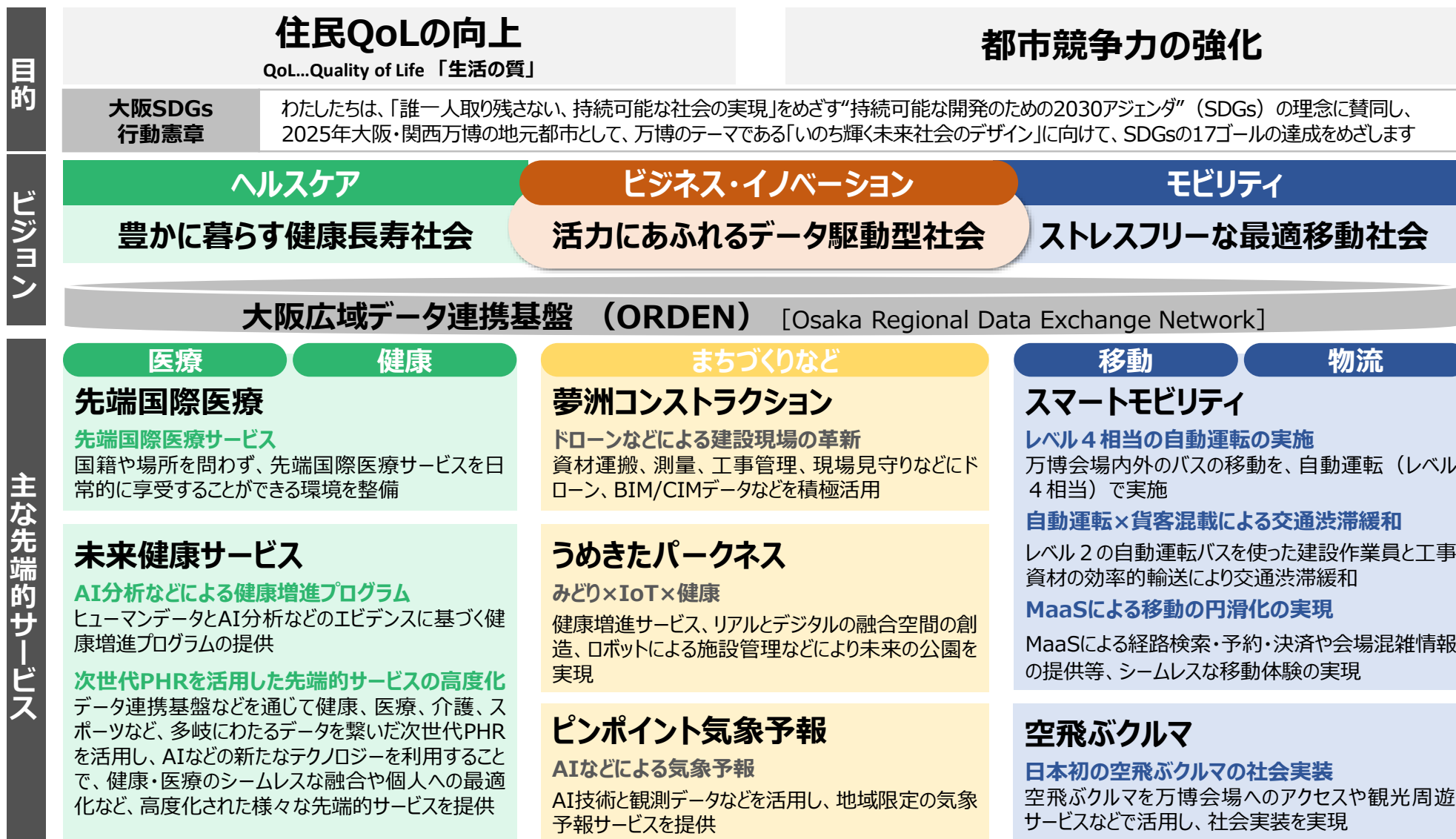
住民QoLの向上と
都市競争力の強化を
めざす

輝く未来社会

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータなどの活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出

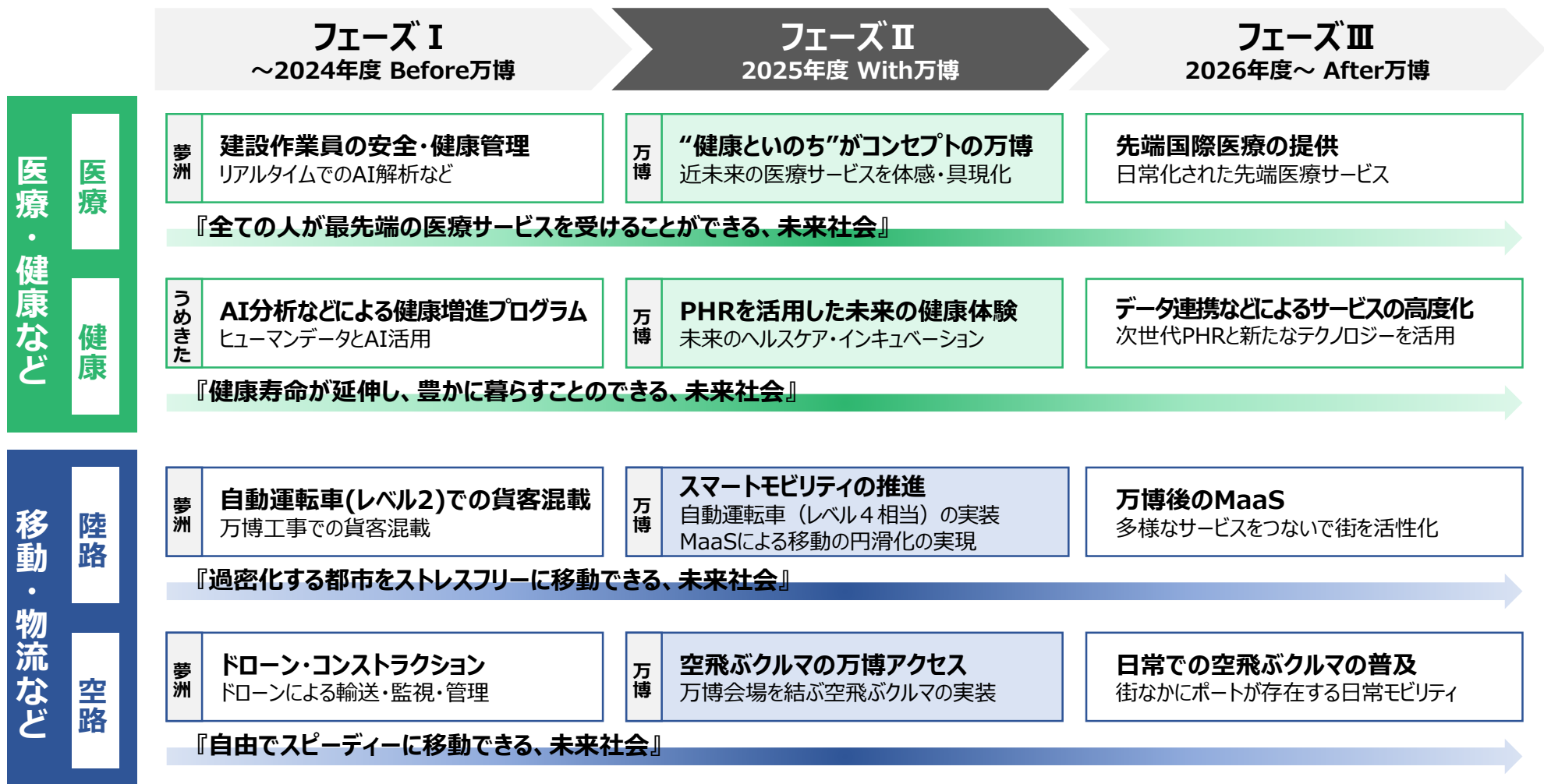
大阪のスーパーシティ構想がめざす未来ビジョン

- 様々な先端的サービスに取り組むことで、住民QoLの向上と都市競争力の強化をめざす。



2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現

- スーパーシティ構想の各取組は、大阪・関西万博を機に、更に技術革新、社会実装を促進し、大阪市域、大阪府域へ展開していく。



凡例 夢洲 夢洲コンストラクション 万博 大阪・関西万博 うめきた うめきた2期

2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現【医療・健康など】

- 誰もが最適な医療・健康サービスを受けることができる未来の健康社会の実現に向けて、スーパーシティ構想のフィールドで実績を重ねていく。

		フェーズⅠ ～2024年度 Before万博	フェーズⅡ 2025年度 With万博	フェーズⅢ 2026年度～ After万博
医療・健康など	ビジョン	<p>建設作業員の安全・健康管理</p> 	<p>“健康といのち”がコンセプトの万博</p>  <p>「大阪ヘルスケアパビリオン」イメージ図</p>	<p>先端国際医療の提供</p>  <p>AIや遠隔で世界の最新医療を</p>
	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 広大な敷地で働く建設作業員の健康管理のために、バイタル情報や作業場所環境、気象情報などをAI解析し、個人にあった適切なタイミングでのアラートを通知 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府と大阪市がREBORNをテーマに設置する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、未来の診断や健康ケア、未来医療が体験できるサービスを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔医療、AIやロボットによる診療支援などの先端医療サービスを、国籍や場所を問わず、日常的に享受することができる環境の整備
	ビジョン	<p>AI分析などによる健康増進プログラム</p>  <p>健康増進施設イメージパース</p>	<p>フューチャーライフ万博</p>  <p>提供：2025年日本国際博覧会協会</p>	<p>データ連携などによるサービスの高度化</p>  <p>PHR（パーソナルヘルスレコード）サービス イメージ</p>
	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ● うめきた 2 期に設置予定の温泉利用型健康増進施設にて、ヒューマンデータとAI分析などによるエビデンスに基づく健康増進プログラムを提供 ● 効果を数値化してデータに還元することで循環型の健康サイクルを形成 	<ul style="list-style-type: none"> ● フューチャーライフ万博は、Society5.0が実現する未来社会を「共創」によって作りあげるインキュベーション型事業 ● フューチャーライフパークを拠点に、未来のヘルスケア(健康医療等データ利活用、医療機器・福祉用具等)も発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● データ連携基盤などを通じて健康、医療、介護、スポーツなど、多岐にわたるデータを繋いだ次世代PHRを活用し、AIなどの新たなテクノロジーを利用することで、健康・医療のシームレスな融合や個人への最適化など、高度化された様々な先端的サービスを提供

2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現【移動・物流など】

● 時間や場所を問わず人やモノが移動できる未来の移動社会の実現に向けて、スーパーシティ構想のフィールドで実績を重ねていく。

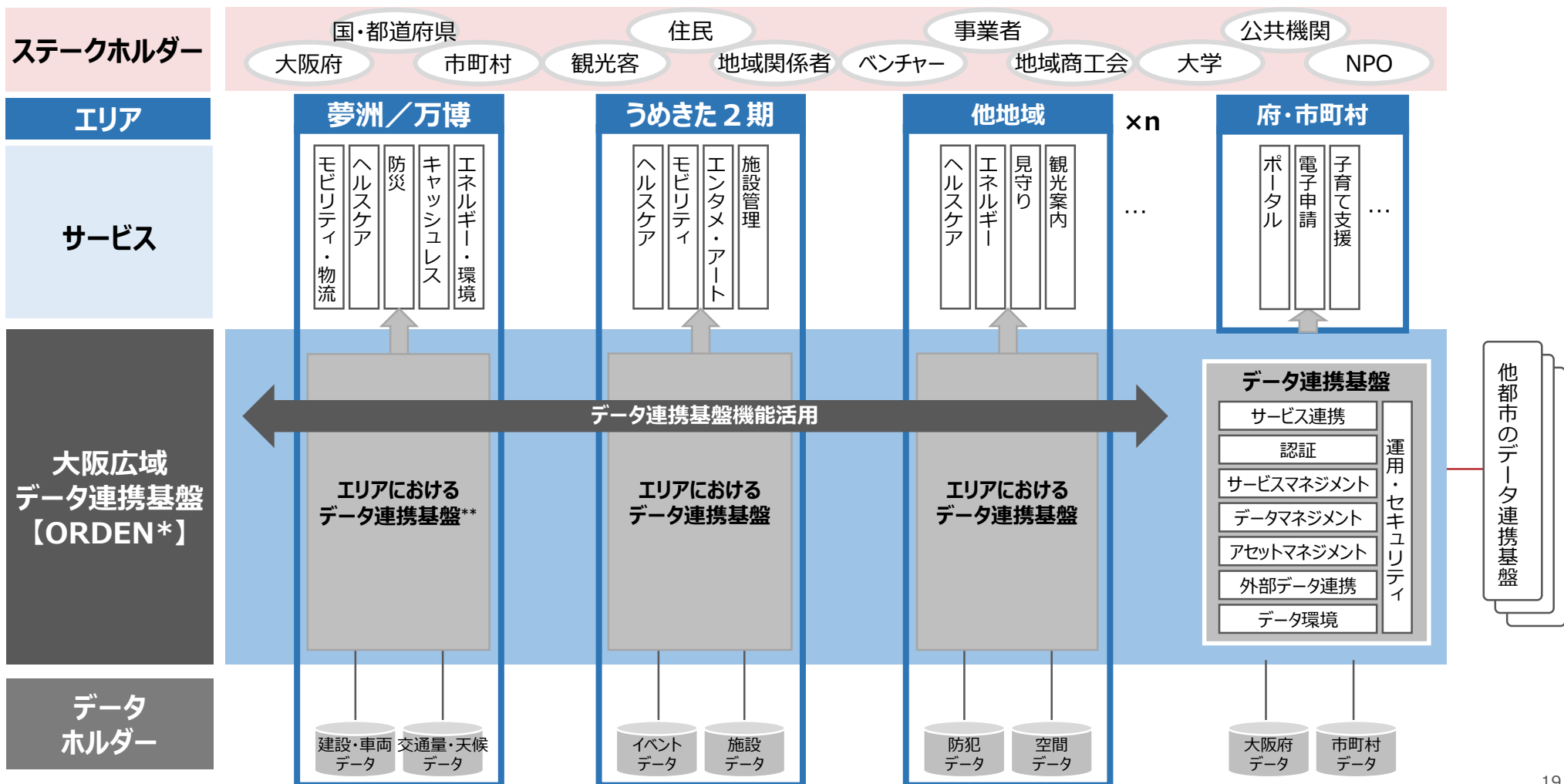
		フェーズⅠ ～2024年度 Before万博	フェーズⅡ 2025年度 With万博	フェーズⅢ 2026年度～ After万博
移動・物流など	イメーション	<p>自動運転車(レベル2)での貨客混載</p>  <p>出典：経済産業省HP</p>	<p>スマートモビリティの推進</p> 	<p>万博後のMaaS</p> <p>人の行動・交通を最適化</p>  <p>MaaS</p>
	サービス内容	<p>貨客混載</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業員用シャトルバスで貨客混載することで工事資材などの運送を効率化 <p>シャトルバスの自動運転化</p> <ul style="list-style-type: none"> レベル2での自動運転走行を大型第一種免許で可能にし、輸送効率を向上 	<p>自動運転：万博アクセス・万博会場内の移動</p> <ul style="list-style-type: none"> 万博会場へのアクセスや会場内移動の一部においてバスの自動運転（レベル4相当）を実施 <p>MaaSによる移動の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> OSAKAファストパス（仮称）による混雑情報の提供や来場交通プランの案内を実施 万博関連情報の連携による関西MaaSの機能拡充 	<p>万博後のMaaS</p> <ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤などを通じて、交通、観光など、多岐にわたるデータを活用し、交通需要を予測・誘導することで、渋滞回避やCO2削減、新たな移動需要の創出に寄与する都市型・広域のMaaSの実装
	イメーション	<p>ドローン・コンストラクション</p>  <p>出典：経済産業省HP</p>	<p>日本初の空飛ぶクルマの社会実装</p>  <p>提供：2025年日本国際博覧会協会</p> <p>空飛ぶクルマの離着陸場</p>	<p>日常での空飛ぶクルマの普及</p>  <p>出典：経済産業省HP</p>
サービス内容	<p>ドローンによる夢洲開発の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢洲開発における工事の円滑な進捗と安全管理のためにドローンを最大限に活用 <ol style="list-style-type: none"> ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配送 ドローンを活用した測量・工事管理 ドローンによる建設現場の見守り 	<p>空飛ぶクルマ／万博アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西の主要空港から万博会場を結ぶ、空のアクセスとしての空飛ぶクルマの社会実装 <p>空飛ぶクルマ／観光周遊</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要観光地と万博会場を結ぶ、観光アクセスとしての空飛ぶクルマ 	<p>街なかにポートが存在する日常モビリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要駅やビルの屋上（Hポート・Rポート）、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地の様々な場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及 	

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の活用

* ORDEN（オルデン）…Osaka Regional Data Exchange Networkの頭文字
 ** 本図はORDENの完成型をイメージしたもの。各エリアのデータ連携基盤間の接続や、各データ連携基盤とORDENの接続については今後、あり方を検討していく。

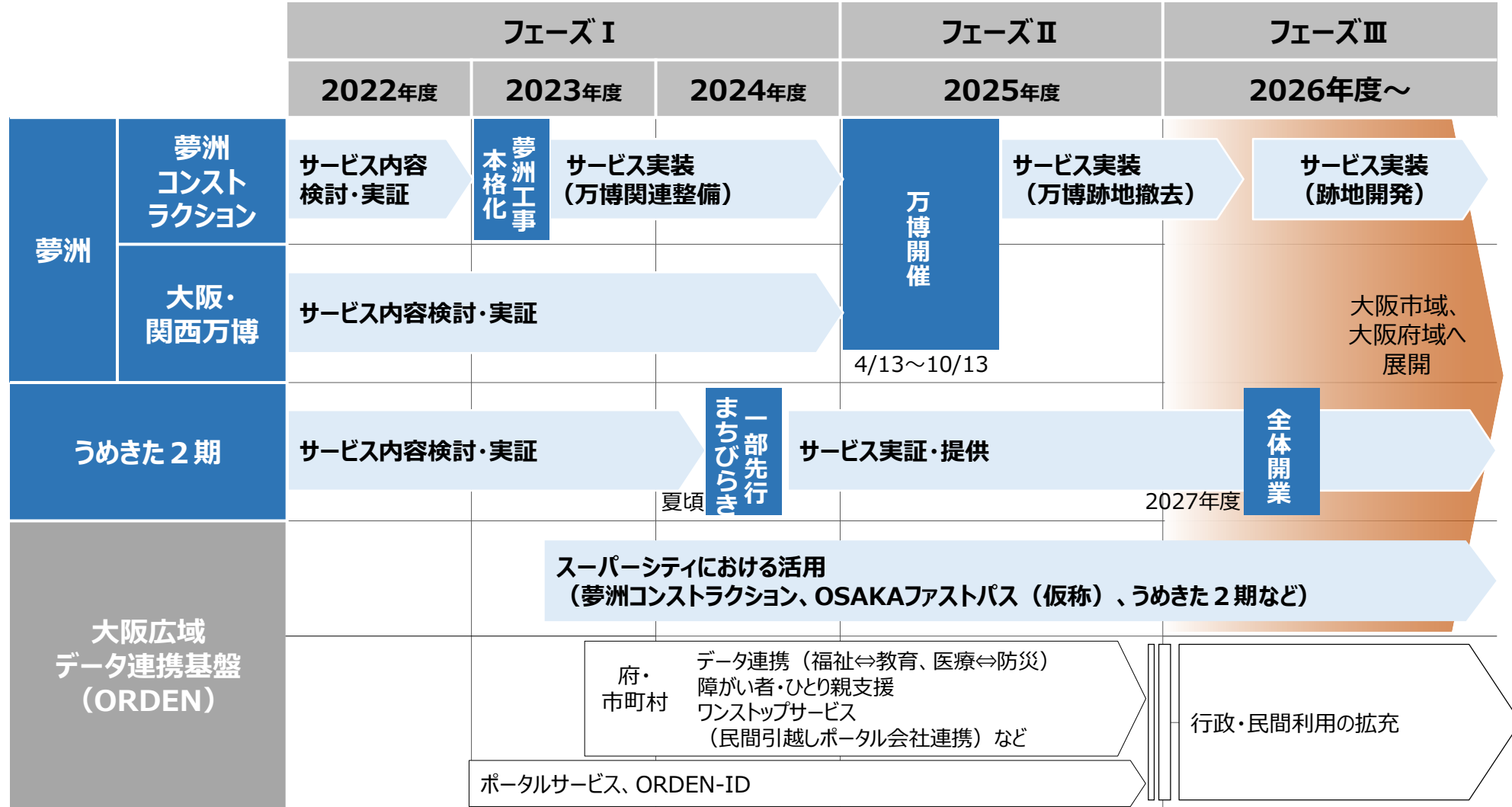
- 2つのグリーンフィールドでの取組で先行的に大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の活用を開始。2025年大阪・関西万博をマイルストーンとして、行政や民間の持つ様々なデータを分野横串で連携し、交通・観光分野などで先端的サービスの社会実装を実現。

大阪広域データ連携基盤（ORDEN）



大阪のスーパーシティ構想の流れ

- 3プロジェクトにおいて先端的サービスを着実に実証・実装し、万博後には大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を介して大阪市域、大阪府域へ展開していく。



ORDENでは多くの市町村のニーズが見込めるポータルサービス、ORDEN-IDの運用やより効果的なサービス提供を通じ、府内市町村へのORDEN利用促進もはかり、その先の先端的サービスの大阪府域への展開につなげていく。データガバナンスを確立し、利活用可能なデータを整備・拡充していく。